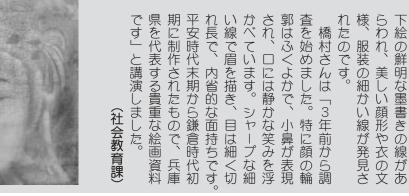
この絵は絹地に色を着け		本を読むことは良いことだと	う
ます。	いもの	している』とありました。	け、本好きな子の育成に取り組
いない珍しい絵画だといい	よう	ちが読書好きとなる取り組みを	を週3回以上設けるよう呼びか
でも10例ほどしか知られて	学校で、家庭で、地域でこ	み聞かせ」を実施して、児童た	べての小中学校に「読書タイム」
	ながったと聞きました。	域ボランティアによる「本の読	読書周間の定着に力を入れ、す
こもつれる公司です。全国	を実	また、教师や保護者、そして地	このことから、2005年度、
り、祈雨の修法(雨ご))	好きた	以上の読書の時間を設けている。	学力があるという頃句がでた。
寿延命や天変地異を鎮めた	₩ 6	が朝の10分から15分間、周1回	力調査で『本をよく読む子ほど』
孔雀明王図は、皇族の長		た。その中で、『すべての学交書活重」にこりて調査をしまし	県教育委員会が実施した基礎学 新聞の見出してす 内容に
成果を発表しました。	ある実践列につて「月)売実行するかがカギです。	碁舌肋- こつって周室をっまっは、市内の小中学校を対象に 読	所引つ乱出してた。内容よ、
絵画の検証」と題して調査	誰もが分かっていますが、どう	昨年6月、養父市教育委員会	
さんが「今滝寺所蔵の仏教			
史博物館学芸員の橋村愛子			
そこで調査を実施した県立歴	ると考えている。	たちの姿が「よく学	会、節分集会等、学校行事には、
歴史講演会が開催されました。	ことが大切であ	に飛び出す子ども	春のなかよし運動会、学習発表
名が参加して第12回ふるさと	合を図っていく	待ち構えて運動場	に置いて一年を振り返ってみる。
	てスムーズな統	原動力。休み時間を不断の学習こそな	ましい大屋つ子の育式」を念頭を愛する。こころ豊かた。たく
があることで有名です。	ジッニッニニッ 交流を基に 子	て 所 つ を 習 こ こ バ	本校の教育目標である「郷土
	他校との学習の	意欲的に学ぼうと	まれている。
	これまで以上に、	丈夫な体を持ち、	たちが人間らしく育つ環境に恵
「戸木坂主の	次年度に向け、	源となる。	大屋小学校は、まさしく子ども
l	り」を実施した。	は、豊かな心を育む	てきた校樹・月桂樹。伝統ある
	グラウンド祭	人たちとの交わり	かい人間性。校歌に歌い継がれ
りました。	主催「さよなら	を得ている。様々な	れ培われてきた地域の人々の温
の絵画資料になることが分か	を 込め、 PTA	域の教育力に多く	い歴史の流れの中で、醸し出さ
	には、感謝の心	の歴史のお話等、地	踊り・・・素晴らしい自然と尊
に言かれ	本校の運動場は狭くなった。夏	腐作り、縄細工、ダンス、校区	ミズバショウ、大杉ざんざこ
の表青は、平	る時を迎える。学校建設に伴い	や花作り、大豆の苗植えから豆	
	に、町内4校が統合し、締め括	ていただいている。その他、米	養父市大屋小学校
違えるほど綺麗な下絵が発見	しかしながら、来年度を最後	各学年に入って読み聞かせをし	
たところ、全く別の絵画と間	熟くして日々、歩み売けている。	1月の2回は、6名の呆獲者こし、単一回の草の言言の人」ののまで、	1 V V
_	ヒレて本交がある。その思っを一枚区に、ナミカ学校、その扨克	周3回の明の売書タイムのうら、の読み聞かせの名称でする。	一位とた。てこう
	交互は、大きな学交、そり処点開て得たさらなる確信である	り売み引いせり 石尔ごある。 ほ あ ほ や で あ る 。 ほ し 、 の よ の ら ら 。 ほ 	一本になってこそ
	目が言い…っ…っ) 保護弁護 テンド (「大) なんのな」 タイムは、本校	学村、家庭、出起力
~今滝寺の孔雀明王図~	てこそ、子どもは全人的に育つ	そのつながりを深めていった。	上支
	学校・家庭・地域が一体となっ	地域との出会いを生み、さらに	「「「「「「」」
まちの文化財⑨	証してくれている。	わりを創ってきた。招待状が、出来る限り地域の人たちとの関	わが技の紹介





やりした絵になっていました。よって色が変質し、暗くほんれていますが、長年の歳月にた絹本著色という技法で描か

しかし、赤外線写真によって